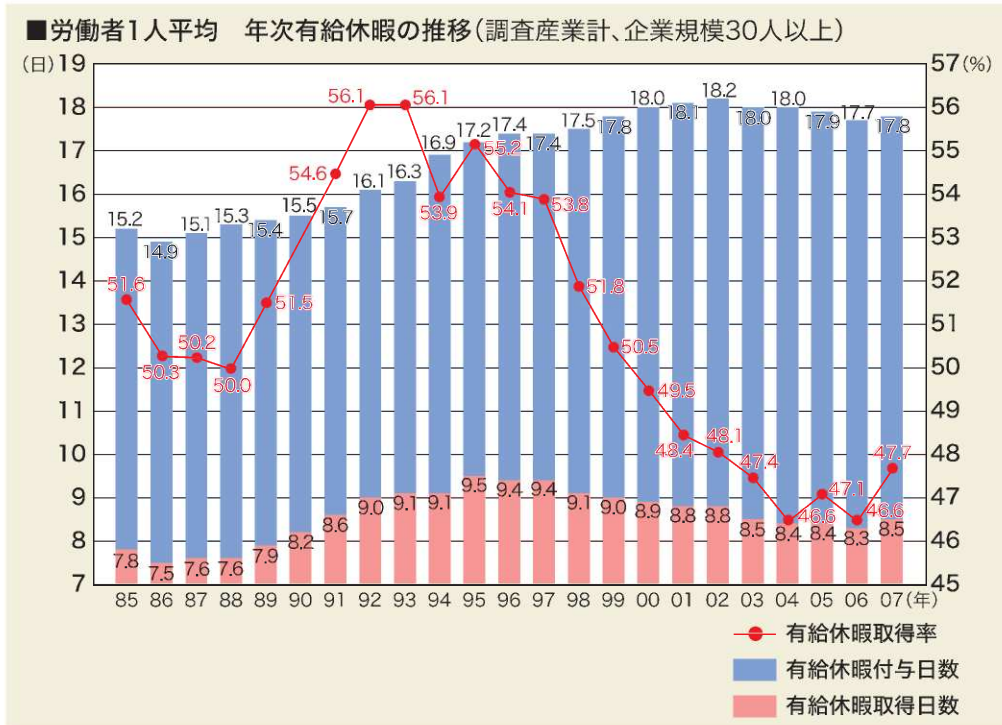


# 日本の有給休暇取得率は長年5割未満

NUMBER



今回は厚生労働省の「就労条件総合調査」の「労働者1人平均年次有給休暇の推移」を紹介し  
ます。グラフを見ると、平成12年以降、年次有給休暇の取得率は50%を切っています。付与日数  
は1980年代と比べると若干増えているものの、実際の取得日数はほぼ横ばい。有給休暇の半  
分も消化できない労働者が多いことがうかがえます。

年次有給休暇を国際比較してみると、どうなるでしょう。日本は欧米諸国と比べて週休日以  
外の休日は多いものの、有給休暇の取得率は極端に低水準。年次有給休暇取得率がほぼ100  
%のフランス、ドイツ、イギリスよりも、総休日数が10日ほど少ないのが現状です。

有給休暇を取って適度にリフレッシュすると「業務の効率化」「従業員の健康管理と安全確保」  
「優秀な人材の確保と定着」といった効果が期待できます。まずは、社員が気軽に有給休暇を  
取れる仕組みを編み出してみたいかがでしょう。